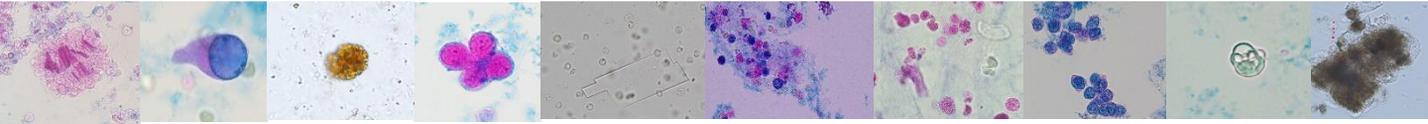




今回は尿検査室が担当します

TOPICS: アドバイスサービスの提供開始

尿検査は【簡便】【迅速】【感度よく】あらゆる診療科へのスクリーニング検査報告を行っています



血液検査では分からない全身炎症について沈渣像から病態推定！

尿細管障害・移植後関連ウイルス感染症・尿路感染症・膀胱破裂・心臓弁置換後の血管内容血・薬物性腎障害・中毒・悪性リンパ腫・先天性代謝異常症・糸球体腎炎の発症など、**診療現場の“症候性分類”と異なる像や急性憎悪が見られた場合、迅速に精査をお勧めしております！**

アドバイスサービスの提供フロー



・Creが上昇？・画像では不明？・感染症？・免疫抑制過剰？・ウイルス感染？・活動性腎炎？・血尿部位？遺伝疾患疑い？溶血原因？何か所見あるか確認して欲しい。

統合検査:尿沈渣依頼

報告非対象



事前:臨床要望



鏡検依頼

報告対象

鏡検依頼方法

- ①統合検査>フリーコメントを記載してください。
- ②初回のみ電話連絡(内線7382)

沈渣鏡検

必要性なし

必要性あり

要望内容報告

現状通り

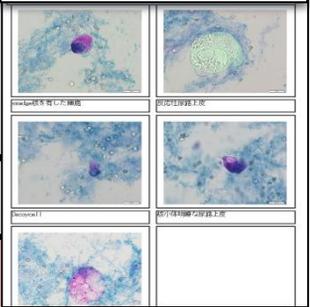
結果値のみ報告

NEW

CITAへ報告書発行

報告対象

報告書(見本)



必要時に報告書を発行

診療・精査部門への早期連携

簡便な検査だからこそ、医療資源の有効選択にご活用ください👉

:アドバイスサービス実績:

- ・尿検査部門から2020年度は約150件/年実施、18診療科に対し報告。
- ・約半数で検査や投薬などの治療の変更・診断名の追加・他科への院内紹介などが行われています。